

# 「夕焼け姫早く食べたい」

東海の船島小3年生苗木植え

県独自のかんきつ新品種  
「夕焼け姫」の栽培に取り

組む東海市船島小学校の三年生が十六日、学校近くの同市加木屋町のほ場で、最初の作業である苗木植えを体験した。

ほ場で栽培管理を任せられる市マルチ栽培夕焼け姫管理会の荒谷芳興会長や、市果樹振興会の坂野五十鈴会長らの指導を受け、児童は二人一組になって、スコップを使って苗木を植えた。水や肥料やりもした。

花井玲南さん(九)は「簡単そうだと思ったけど、肥



苗木えを体験する児童たち  
ち＝東海市加木屋町で

料をまくのが難しかった」、菊池光君(九)は「自分や友だちが植えたので早

く食べてみたい」と話した。児童たちは栽培を前に、昨年十二月に農家からミカ

取りを続けて、卒業前の収穫につなげていく。

ン作りの授業を受けていた。卒業する三年後に実になる予定で、肥料やりや草

(福本英司)